



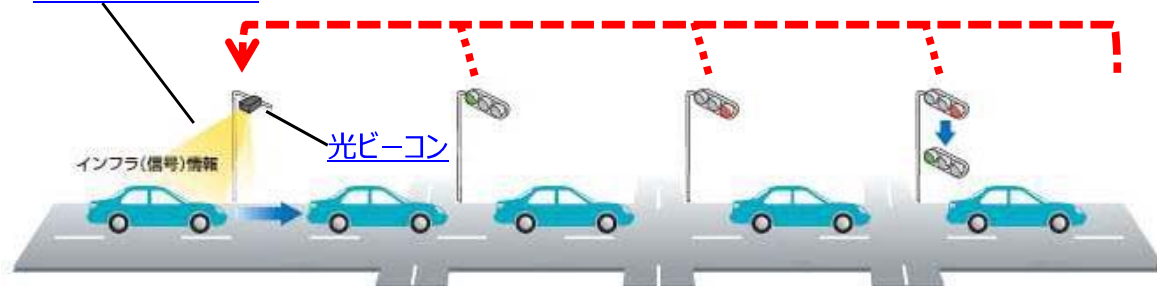
信号情報活用運転支援システム 実証実験の計画

三菱自動車工業株式会社
2014年9月3日(水)



光ビーコンから受信した連続交差点区間の信号情報を運転支援に活用し、交通事故や交通渋滞の削減等に資することを目標にする。

信号制御スケジュール、
交差点までの距離



<実証実験する運転支援システム>

- ①赤信号減速支援システム
- ②発進遅れ防止支援システム
- ③アイドリングストップ支援システム
- ④推奨速度通知支援システム



信号交差点において赤信号で停止する場合、不要な加減速を抑制するようにドライバーに情報提供する。また、赤信号に気づかずに減速操作をしないドライバーに注意喚起する。



<効果・狙い>

- ・赤信号の見落としを防止、安全性を向上させる。
- ・早めの減速により燃料消費を抑え、環境性能を向上させる。



交差点での信号待ち時、赤から青への灯色変化の見落としによる発進遅れを改善できるようにドライバーに情報提供する。



<効果・狙い>

- ・発進遅れを少なくすることにより、交通流の円滑化、渋滞低減を図る。

③アイドリングストップ支援システム



赤信号で停止する際に、赤信号の残時間に応じてアイドリングストップの作動の適否を判断し、制御することにより、スムーズな発進操作と低燃費運転の促進を図る。



<効果>

- ・短時間のアイドリングストップを防止し、ドライバのスムーズな発進操作につなげることにより、交通流の円滑化を図る。

5

実験場所(候補)



愛知県豊田市内の幹線道路にて実験予定



© INCREMENT P CORP. iPC許諾番号PL0706 地図画像の無断複製を禁ず

④推奨速度通知支援システム



一連の信号交差点を通り抜ける際、赤信号での停止、発進の回数を少なくできるように推奨速度をドライバに情報提供する。



<効果>

- ・無駄な停止発進を抑制することで燃料消費を抑え、環境性能を向上させる。

6

全体日程(案)



2014年度/2015年度											
7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
実験車載の準備 作動確認・調整											
実験計画				実験準備(現地調査・機材準備・パネルー選定)							
						パネルー実験の実施★ (データ収集・アンケート調査)					
										試験データ分析・まとめ	

★一般ドライバ100人程度のパネルーを対象に走行時の各種データを収集し、運転支援システムの有無や情報提供手段による安全運転効果などを分析する。

8